

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利
幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



2004-2005年度
RIテーマ

ロータリーを 祝おう

100年の歩み

グレンE.エステス・シニア



彼岸花

[写真提供：櫻井 龍太君]

第1593回

<ソング> SING EVERYONE SING
<ソングリーダー> 飯塚 秀彦君

CELEBRATE
ROTARY



会長挨拶

柳原 寿男君

第1592回例会では、特別養護老人ホーム「愛華の郷」施設長大石雅巳氏より、ボーイスカウトの話を中心に卓話をいただきました。ご自身が小学生の時に入隊、その後は指導者として現在まで、長い間ボーイスカウトに係って来られた体験に裏付けられたお話は、大層説得力があり感銘いたしました。

ロータリーの奉仕活動については、俗な表現で第一に体を使って奉仕、第二に頭を使っての奉仕、第三にお金を使って奉仕すると云われます。汗水流しての奉仕活動が最もインパクトが強いということでしょうか。ロータリークラブが単なる金銭の寄付団体でないことは確かです。

さて9月は「新世代のための月間」です。1996～97年度小西会長の折、クラブ創立25周年記念として「新世代会議」が開催されました。地域の新世代の方々と地元リーダーとの対話を推進することが目的です。地元リーダーとして市長、教育長、社会福祉協議会会長、それに私共のクラブから当時商工会議所副会頭の鈴木廣利君がパネラーとして参加。6人の新世代リーダーの体験にのっとった貴重な意見を聞く機会があり、大層有意義な会議であったと記憶しております。

しかし残念なことに次年度の活動に於いてさえこの記念すべき「新世代会議」は生かされず、以後現在に至っております。クラブ活動がマンネリに陥ることのないよう此のようなイベントは顧みることも大切だと思います。

幹事報告

宮川 邦光君

- 国際ロータリー第2620地区渡邊ガバナーより地区大会のご案内と本登録のお願いが届いております。登録期限は10月5日(火)
- 「国際親善フォーラム」参加のお願いが届いております。

10月31日(日)

13時15分～14時30分

熱海ニューフジヤホテル

- ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会本登録のお願いが届いております。
- 「2005年RI会長主催祝賀会議」のご案内が届いております。

日時 平成17年4月29日(金)

会場 新高輪プリンスホテル

登録料 一人 18,000円

- 次年度地区役員 委員推薦のお願いが届いております。
- 青少年交換小委員会より2005年度青少年交換事業派遣推薦学生の決定通知が届いております。

当クラブから推薦した竹越翔子さんが派遣決定致しました。

- 青少年交換委員会より交換学生への第1回オリエンテーションのご案内が届いております。

日時 10月17日(日)

場所 米山梅吉記念館

- 里山保護運動(学校林)開催のご案内が届いております。

日時 10月29日(金)

場所 上野原中学校

- 藤枝市長松野輝洋様から藤枝市制50周年記念式典の出席依頼が届いております。

日時 11月3日(祝日)10時から

- 藤枝市緑をすすめる会より第61回秋の植木まつりの開催並びに募金運動協力についてのお願いが届いております。
- 榛南ロータリークラブから週報が届いております。

出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31 / 42 73.81%	36 / 42 85.71%

(1)欠席者(事前連絡とメーカーキャップをどうぞ)

池ノ谷君 岩田君 鈴木廣君 村松英君
浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君
鈴木晶君

(2)メーカーキャップ者

望月 志郎君(静岡南) 村松 宏一君(静岡南)
岩崎 四郎君(静岡南) 櫻井 龍太君(藤枝南)
松葉 隆夫君(藤枝南) 水野 義猛君(静岡)

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 後藤 功君

9月19日(日曜日)2620地区の社会奉仕委員会が山梨県の環境科学研究所において開催されました。当時は3連休の中日ということもありまして、定刻に間に合わない方がかなりありました。沼津方面からの方は4時間も掛かったとのことでした。参加人数は70名ありました。

甲斐RCの溝口社会奉仕委員長の挨拶からはじまり、三島での地区協議会の席で今年度も継続して富士山の美化と環境保全に努め、『景仰』できる遺産として後世に伝えていく事を掲げた経緯を述べ、そうしたことからまず、現状の『富士山』そのものを理解してもらうことが必要であるということから今回の開催につながった旨報告がありました。

当日は、兼子悦三100周年実行委員長、山岡地区幹事も参列されました。兼子委員長からは、地域からアピールできるものをとということで、両県にまたがる『富士山の環境保全』を掲げ、いずれ世界遺産にと、できなくともせめて文化遺産にできればと、熱く語られました。

山岡幹事も今年は、銀杏の実の落ちるのが例年と比べると1ヶ月ほど早いし、彼岸花の咲く時期も10日ほど早く、これも環境の変化が影響しているのではと、不安げに話されました。

その後、池口研究員(県職員)から富士山の自然というテーマでお話があり、日本の自然の成り立ち、人と自然の付き合い方について貴重なご講演を伺いました。

その後、映像とクイズで森林の役割、環境について研修を受けました。その中でドイツの様子が紹介され、小さな時から分別してものを捨てる、リサイクルできるものをできるだけ使用する、スーパーでは持って来た牛乳瓶に冷水機から水を取るように牛乳を入れる様子。また、酸素を造り、土や水を保全する森林への理解度の違いを強く感じました。

つづいて、中沢さん(県職員)から野外で富士山は、子御岳山、古富士、新富士の三つの山からなっている話、又、溶岩の上に最初に生育する赤松の話、その赤松も一代で終わってしまうこと、その地域で生きている動物(一畳に一匹はいるヒメネズミ)について貴重なお話を伺いました。

開催された環境科学研究所は山梨県が運営しており、富士吉田市上吉田字剣丸尾という地名です。この地名も約1000年ほど前に8合目付近から流れで出た溶岩流の形が「剣に似ており最後の方が丸くなって溶岩(厚さ3~6m)の流れが終っているところからこの名前が付けられているようです。この建物も、この溶岩流の上に建っているんだらうか。かなり頑固に建てられているようで建物内では携帯電話は使用できないようです。海拔1036m、建物のアプローチには、マグマの中で出来た3色の石が並べられています。また、

屋上には庭園が設けられ、微動地震用のGPSが設置され、別棟の屋根には太陽光発電が設備され、溶岩流の上に最初に育つ『赤松の林』に囲まれた静かなたたずまいでした。

補足ですが山梨というところは、面積の約80%が森林であり、東京に近く自然に恵まれており、そうしたことから日本の環境の発信基地として貢献していこうとしております。スパルラインを通して富士五合目へ行く道路は有料道路のようです。これも環境への思いが感じられます。この施設には年間1万～1万2千人の方々を訪ね学習されるそうです。写真など見て帰る方は4万人位だそうです。ぜひ会員の方も機会をみつけて見学して下さい。

新世代奉仕委員会 委員長 増田 國衛君

次の行事が行われ、無事終了しましたので報告します。ご協力ありがとうございました。

9月19日(日)

藤枝市少年サッカーリーグ戦 閉会式

参加者：宮川幹事・増田委員長・会員4名

9月20日(祝日)

藤枝ロータリー旗争奪少年剣道大会

参加者：鈴木廣副会長・宮川幹事・会員7名



第39回サッカーリーグ戦結果(5年の部)

優勝：葉梨	2位：青島北	3位：藤枝
4位：高洲	5位：青島	6位：広幡
7位：青島東	8位：西益津	9位：高洲南
10位：藤岡	11位：大洲	

外部卓話

“無から有を生み出す奉仕活動”

菊川町 生涯学習同好会

休自由年会 代表 松下 鎬司様



皆さん今日は。松下でございます。よろしくお願ひいたします。16年前に当クラブに入会し、いろいろとお世話になりましたが、

当時の方々と再会でき大変な喜びであります。本日は初対面の方もお見えですから短く自己紹介をいたしますと、私は昭和60年1月に浜松電話局から藤枝電話局に転勤し、翌2月から当クラブに入会し、退職までの3年余り楽しく過ごしました。当時の会員は64名で中々の賑わいでありました。

さて、私達の生涯学習同好会は、平成2年に自治会長を務めた者で、平成3年に休自由年会として発足し、今年で14年目を迎えております。

毎月の例会は、NIE方式を採用し、社会の動

きを重点に取り組んでいます。親睦旅行により友愛と団結の絆を深めております。

処で、私達同好会は月例会時の資料代として年会費は千円ですから奉仕活動は予算なしの「無から有」を生み出す活動で、智恵を出し合って取り組んでおります。皆様のテーブルに私達の奉仕活動の新聞掲載記事のコピーと御詠歌帳をお配りしましたから参考にご覧下さい。その概要について紹介のことといたします。

一つ目は、JR菊川駅南地区の商店街の昭和15年頃の家並み図を作成しようと取り組みました。

1年後にA3版19頁に編集し完成としました。戦前の良き時代に想いを寄せたものでした。その後母校の堀之内小学校に社会科教材として10冊寄贈しました。後日、SBSスクーピーの取材を受け、多くの方々から要望もあり喜ばれました。二つ目は、不要カレンダーとポスター活用による絵画帳を作成し園児達にプレゼント活動です。

町内の公的事業所を訪問し、不要カレンダーなどを回収し、裏側の白紙部分を利用した絵画帳360冊作成し、3幼稚園と7保育園に寄贈しました。

贈呈時の園児達の喜びの笑顔を見て大いなる満足感を味わった次第でありました。

三つ目は、西国三十三所観音巡礼の御詠歌が、凡てひらがな体で表記されているため、これを漢文字入りとすれば寺院の情景や御詠歌文の意味も鮮明になるのではないかと取り組みました。1年後漢文字入り御詠歌文も完了のため、関係三十三寺院に郵送し、漢文字入り御詠歌文の正否を問い合わせ1ヵ月後、全寺院からご指導を賜りました。

屏風折の御詠歌帳にひらがな体と各寺院のご指導文および私達作成のご詠歌文を併記し、裏面は寺院の歴史や所在略図と解説も添えました。

町広報紙や新聞掲載により多くの方からご要望が有り、その純益金を歳末助け合い募金に寄付と重度心身障害児施設に床用マットの寄贈も出来、小さな奉仕活動に協力できましたが、何よりも静岡県立図書館から御詠歌帳が永久保存冊子の指定

を受けたことでした。この処、法事等の引出物に添えたいとの申し出もあり、今後もこれらの方々の期待に応えたいと思っております。

以上、私達同好会のささやかな奉仕活動の取組について紹介しましたが、今後も「無から有」の活動に向けて努めたいと存じます。

では、藤枝RCのますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げて、私の卓話といたします。ありがとうございました。

(担当 / 青島克)